



やる気 根元

学校教育目標：心豊かでたくましく 心身ともに健やかな鳴鼓っ子の育成

時津町立鳴鼓小学校 学校だより 第10号

令和4年1月12日 文責：校長 村井 宏之

明けまして
おめでとごいります



令和四年が始まりました。十七日の休みを終え、子供たちが元気に戻ってきました。長期の休み明けの朝は、子供たちが元気に戻ってきてくれるか心配でたまりません。しかし、一月十一日（始業式）の朝は、薄暗い曇り空を吹き飛ばすように、子供たちの元気な挨拶の音が響いていました。安心するとともに、とてもうれしく思いました。鳴鼓小にとって、すばらしい一年になることを予感させる気持ちのよい朝でした。

始業式では、「三学期はゴールであり、スタートだ」という話をしました。

三学期はまとめの学期です。学年のゴールです。子供たちには一・二学期に頑張ってきたことを続け、確かなものにしていてもらいたいと思っています。

私は常々子供たちに、『声と心を響かせ、響き合わせよう。』「挨拶」「返事」「発表」を頑張ろう。「一生懸命」や「頑張り」、そして「優しさ」を互いに響き合わせて、鳴鼓小をもっともっと、みんなが居心地のいいすてきな学校にしよう。』と伝えていきます。三学期も、このゴールを目指して、三三〇人全員で頑張っていくことを確認しました。

加えて、子供たちには、今の学年に進級したときに、頑張りがかったこと、なりました自分の姿をもう一度思い出し、諦めず残り三か月で達成できるように頑張ろうと話しています。「三か月しかない」ではなく、「まだ三か月もある」のです。目標を飾りにせず、実現できるように努力する鳴鼓っ子であってほしいと願っています。

また、年の初めである一月は区切りのときでもあり、スタートのときとも言えます。次の学年に向けて、何か一つ小さなことでも構わないので目標を決め、始めてほしいと伝えました。

三学期は、六年生が四十六日、五年生は五十日、一～四年生は四十九日です。ゴールである卒業式、修了式の日全員が「この学級でよかった」と思える学級を自分たちの手で作っていてもらいたいと願っています。

始業式では、二年生と五年生の代表が三学期の目標を発表しました。新しい学期、新しい年を迎え、気持ちを新たに堂々と発表することができました。



三学期の主な行事

＜一月＞

- 十一日(火) 始業式
- 十七日～二十三日 メディアOFF週間
- 二十一日(金) 給食集会

＜二月＞

- 九日(水) 入学説明会
- 十五日～十七日 校内図工展
- 十五日(火) 授業参観・懇談会(低学年)
- 十六日(水) 授業参観・懇談会(中学年)
- 十七日(木) 授業参観・懇談会(高学年)
- 二十二日(火) クラブ見学
- 二十五日(金) 送別集会・集団下校

＜三月＞

- 七日～十一日 学期末短縮日課(五時間授業)
- 十七日(木) 卒業式 ※給食なし
- 二十四日(木) 修了式・離任式 ※給食なし
- 二十五日～四月五日 春休み

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の徹底

年末から年明けにかけ、オミクロン株の出現により、状況が一変しました。ここ数か月、感染拡大が収まり、平常を取り戻しつつあっただけに、残念であるとともに危機感を感じています。学校としてもクラスターを発生させないよう感染対策に努めていきます。ご協力をお願いします。

また、予定している行事等についても変更を余儀なくされることが考えられます。ご理解のほどよろしくお願いたします。

